

始



95 乙

昭和十四年一月

圖書館案內

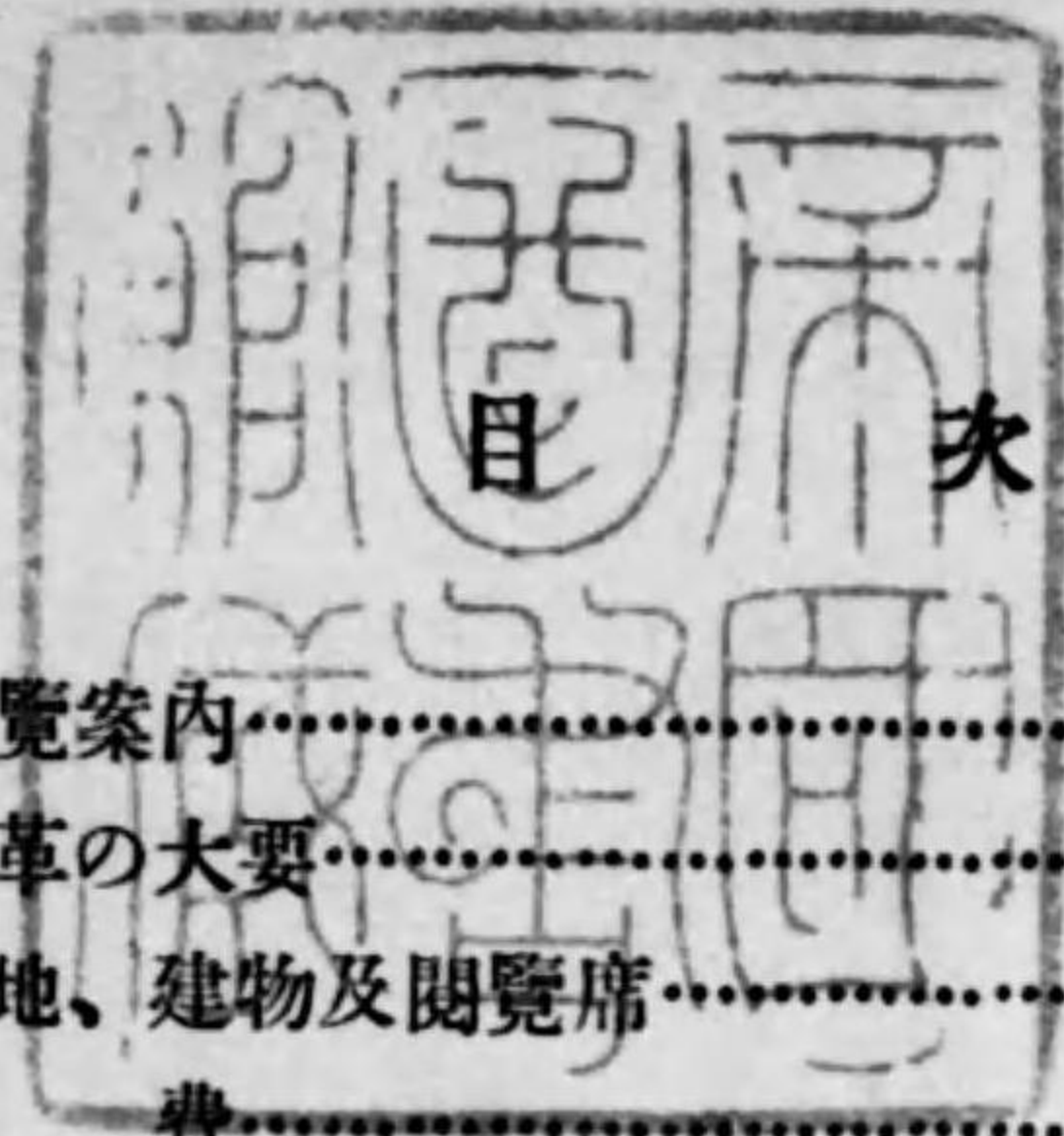
優良圖書
時局關係圖書
支那事變關係雜誌索引
中等參考圖書

臺南市立臺南圖書館

(電話八九〇番)



388
380



1	閱覽案内	1
2	沿革の大要	2
3	敷地、建物及閱覽席	2
4	経費	3
5	職員	3
6	蔵書	3
7	閱覽人員	3
8	閱覽冊數	4
9	兒童はどれだけ利用したか	5
10	學年別入館兒童	5
11	兒童閱覽圖書冊數	5
12	本館備付閱覽用新聞	6
13	本館備付閱覽用雜誌	7
14	雜誌はどれ程讀まれたか	8
15	どんな本がよく讀まれたか	8
16	子供はどんな本を多く讀んだか	13
17	優良圖書	16
18	時局關係圖書及雜誌	22
19	中等參考書	44
20	主なる新着圖書	51
21	臺南州下圖書館表	55
22	圖書分類表大綱	56

發行所寄贈本



1. 閱 覽 案 内

- 臺南圖書館は社會教育上有益なる圖書を蒐集し公衆の閱覽に供する傍地方開發上必要なる調査研究の資料を蒐集保存するを以て目的として居ります
- 閱 覽 時 間
〔自六月一日 自午前九時〕 〔自十月一日 自午前十時〕
〔至九月三十日 至午後十時〕 〔至五月三十一日 至午後十時〕
- 休 館 日
紀元節、天長節、始政記念日、臺灣神社例祭日、明治節
圖書整理日 毎月末（十二月に限り二十八日）
曝 書 九月又は十月中五日間
年 末 年 始 〔自十二月二十九日〕
〔至翌年一月五日〕
- 本館は閱覽料を徴收せず
- 本館は圖書の寄贈を受け公衆の閱覽に供する目的を以て委託圖書の保管を致します
- 圖書閱覽は館内閱覽館外閱覽の二種に分れて居ります、但し官公署及特殊團體に對しては特別取扱の便法があります
- 圖書を閱覽せんとするには先づ階下出納所に備付の圖書目錄及カードにより希望圖書を検索するのです
希望圖書が容易に検索が出来ぬ場合は御遠慮なく係員に御相談下さい
- 目的の圖書を見出し得たならば閱覽請求券を貰つてそれに書名、冊數、分類、番號、住所、姓名、職業、（學生、生徒は學校名及學年）を指定欄内に明記したる上係員に提出して圖書を借受け階上指定席に於て閱覽を願ます
- 借受けた圖書に破損、欠頁等がありましたら直に係員に御申出で下さい何等の申出がなくて返却の際係員が之を發見した場合は賠償の責任を有することになつて居りますから十分御注意を願ひます
- 借覽し得べき圖書は同時に三冊以内で新着圖書及び新刊雜誌は一冊になつて居ります尙一旦借りた圖書は一應返却して更に借替えることが出来ます
- 退館せんとする場合は借覽圖書を出納所に返却し係員の檢印を受け

て下さい

- 圖書携出證下附額(出納所に備付けあり)を提出して圖書携出證(六箇月間有効)の交付を受けられると自宅に於て閲覽することが出来ます。同時に一人三冊以内七日間です
- 何等の申出がなく圖書の返済が遅滞すると貸出を中止することがありますから御注意を願います
- 希觀書、古書、禁帯出の圖書は館外貸出を御断りします
- 圖書は丁寧に取扱ひ書込、折込、切取等せぬ様にして下さい

2. 沿革の大要

大正八年九月 臺南公館附屬圖書館として同館内池畔の建物を利用して閲覽を開始す

大正十年三月十日 辜顯榮氏寄附金參萬圓を以て建築起工(建築費貳萬五千圓、圖書購入費五千圓)

大正十年八月三十日 建築落成(煉瓦造二階建スレート葺)

大正十年十月二十六日 落成式舉行翌日より開館す

大正十二年四月 臺南市に移管

大正十二年十二月二十六日 臺南市立臺南圖書館として設立の件を認可せらる

大正十三年四月十六日 財團法人臺灣濟美會より教育獎勵の趣旨により助成金として金參百圓を受け記念文庫創設

大正十三年五月二十日 臺南市立臺南圖書館處務規程を定む

大正十三年八月二十日 館外閲覽規程を定む

昭和二年一月 金壹萬圓を以て階上閲覽室二十七坪階下兒童室二十九坪増築

3. 敷地建物及閲覽席

敷地面積	154坪	建坪	102坪	延坪	212坪
普通閲覽室	49坪	特別閲覽室	6坪		
婦人室	6坪	兒童室	23坪		
事務室	16坪	書庫	18坪		
其他	94坪				
閲覽席	148席				
普通閲覽席	72	特別閲覽席	4		
婦人席	12	兒童席	60		

4. 經費(昭和十三年度)

總額	8,862圓		
雜給	4,567圓	圖書費	2,500圓
需要費	1,545圓	修繕費	250圓

5. 職員

館長(兼務)	一	主事(兼務)	一
主任(嚮託)	一	雇員	三
備員	三	小使	二

6. 藏書(昭和十二年度)

部 門	和漢書	洋書	計
第〇門 總 類	5,808	91	5,899
第一門 哲 學、宗 教	1,764	22	1,786
第二門 教 育	1,538	21	1,559
第三門 文 學、語 學	3,853	53	3,906
第四門 歷 史、地 誌	2,479	44	2,523
第五門 法 制、經 濟、社 會、 統 計、植 民	3,003	32	3,035
第六門 理 學、醫 學	1,135	17	1,152
第七門 工 學、兵 事	601	4	605
第八門 藝 術	620	—	620
第九門 產 業、家 政	2,133	22	2,155
記 念 文 庫	97	—	97
計	23,031	306	23,337

7. 閲覽人員(昭和十二年度)

種 別	館内閲覽	館外閲覽	計
學 生、生 徒	29,571	1,963	31,534
官 吏、公 吏、軍 人	2,599	649	3,248
教 員、宗 教 家	452	89	541
法務又は醫務に關する業	129	19	148
記 者、著 述 家、藝 術 家	51	19	70
實 業	5,358	813	6,171

無	職	19,379	432	19,811
共	他	9,703	—	9,703
の				
計		67,242	3,984	71,226
兒	童	30,365	—	30,365
合	計	97,603	3,984	101,591
閱	閱	19,277		
覽	覽	51,949		
人	員	{内地人 本島人}		
兒	童	1,877		
閱	覽	28,488		
人	員	{内地人 本島人}		
計		101,591		
一	日	{大人 232名 兒童 99名}		計 331名

8. 閱覽冊數 (昭和十二年度)

部 門	館内閱覽	館外閱覽	計
第〇門 總 類	49,954	813	50,767
第一門 哲 學、宗 教	2,515	483	2,998
第二門 教 育	1,903	143	2,046
第三門 文 學、語 學	16,457	4,226	20,683
第四門 歷 史、地 誌	5,888	607	6,495
第五門 法 制、經 濟、社 會、 統 計、植 民	3,263	398	3,661
第六門 理 學、醫 學	6,883	131	7,014
第七門 工 學、兵 事	2,121	176	2,297
第八門 藝 術	1,464	181	1,645
第九門 產 業、家 政	2,593	310	2,908
計	93,046	7,468	100,514
兒 童	94,973	—	94,973
合 計	188,019	7,468	195,487
閱	閱	25,945冊	
覽	覽	74,573冊	
冊	數	{内地人 本島人}	
兒	童	4,694冊	
閱	覽	90,279冊	
冊	數	{内地人 本島人}	
計		195,491冊	
一	日	{大人 327冊 兒童 310冊}	
閱	覽	冊 數	

9. 兒童はどれだけ利用したか (昭和十二年度)

學 校 別	男	女	計
南 門 小 學 校	650	479	1,129
花 園 小 學 校	521	173	694
附 屬 公 學 校	1,291	172	1,463
寶 公 學 校	9,471	160	9,631
末 廣 公 學 校	5,524	749	6,273
港 公 學 校	2,207	337	2,544
明 治 公 學 校	1,244	5,917	7,161
其 他	1,051	419	1,470
計	21,959	8,406	30,365
一	日	平均 兒童閱覽人員 99名	

10. 學年別入館兒童 (昭和十二年度)

學 年 別	男	女	計
第 一 學 年	2,747	1,082	3,829
第 二 學 年	3,609	2,269	5,878
第 三 學 年	3,716	2,060	5,776
第 四 學 年	3,121	1,257	4,378
第 五 學 年	3,819	1,036	4,855
第 六 學 年	3,959	609	4,568
高 等 科	694	57	751
幼 稚 園	9	8	17
其 他	285	28	313
計	21,959	8,406	30,365

11. 兒童閱覽圖書冊數 (昭和十二年度)

部 門 別	小 學 校		公 學 校		其 他		計
	男	女	男	女	男	女	
080 總 類	1,216	773	34,837	18,320	1,050	68	56,264
081 {修身、讀本 綴 方	32	25	1,752	802	45	3	2,659
082 {學校、學生 入學準備書	4	—	78	12	2	—	96

083	お伽、児童劇	1,207	910	18,248	7,574	332	25	28,296
084	童話、歴史、傳記、地理	218	84	4,331	796	47	3	5,479
085	法制	—	1	33	7	3	—	44
086	理科、算術	62	23	1,168	234	23	—	1,510
087	兵事	17	3	255	12	3	—	290
088	體操、遊戯、圖畫、唱歌	19	6	260	37	5	—	327
089	農工、商業	—	—	8	—	—	—	8
計		2,775	1,825	60,970	27,794	1,510	99	94,973

一日平均 兒童閱覽冊數 310冊

兒童閱覽圖書一人平均 3冊

12. 本館備付閱覽用新聞

臺灣日日新報	名古屋新聞
臺灣新聞	鹿兒島朝日新聞
臺灣日報	夕刊帝國新聞
臺灣新民報	教育新聞
新竹新報	日刊時事寫真通信
高雄新報	情報報
臺灣藝術新報	天國新聞
臺北ロータリー月報	クリッチク
臺北高商ヘラルド	更新新聞
島南新報	黃金時報
南邦新聞	南洋情報報
臺灣パツク	淨曲新報
大阪毎日新聞	電界時報
東京日日新聞	ときのこ
福岡新聞	少年兵
萬朝報	縮刷大阪朝日新聞
新愛知	

13. 本館備付閱覽用雜誌

改 造	中央公論	現 代
日本及日本人	雄 辯	科 學 畫 報
科 學 知 識	教 育 研 究	實 業 之 日 本
婦 人 公 論	新 女 苑	主 婦 之 友
國 際 寫 真 情 報	臺 灣 公 論	受 驗 と 學 生
臺 灣 貿 易 月 表	Romaji Bungaku	日 の 出
南 洋	新 竹 州 時 報	南 洋 協 會 雜 誌
日 本 公 論	キ ン グ	富 士
野 球 界	婦 人 俱 樂 部	國 際 パ ン フ レ ッ ト 通 信 幣
講 談 俱 樂 部	少 年 俱 樂 部	貨 物 通 信 幣
受 驗 界	考 へ 方	經 濟 パ ン フ レ ッ ト 通 信 幣
少 女 俱 樂 部	上 級 英 語	臺 灣 經 濟 往 來 育
農 業 世 界	請 演 時 報	臺 灣 教 育
圖 書 館 雜 誌	商 店 界	子 供 朝 日
週 間 朝 日	潭 海	科 學 と 模 型
熱 帶 園 藝	子 供 の 科 學	早 稻 田 學 報
文 部 時 報	臺 灣 農 事 報	東 京 堂 月 報
祖 國	臺 灣 建 築 會 雜 誌	修 養 神
子 供 の 國	同 光	新 國 民
幼 年 俱 樂 部	經 濟 市 場	大 東 文 化
高 雄 州 時 報	國 際 聲	詩 報
圓 通	著 柘 榴	原 生 林
臺 灣 の 水 利	2 6 〇 〇	綿 工 聯 統 計 月 報
南 瀛 佛 教	日 滿 經 濟 論 壇	綿 工 聯
基 隆 勸 業 協 會 月 報	小 學 一 年 生	特 許 公 報
海 警	小 學 二 年 生	商 標 公 報
輸 出 綿 織 物 月 報	小 學 三 年 生	實 用 新 案 公 報
臺 灣 地 方 行 政	親 民 書	
聖 母 の 騎 子		
臺 灣 技 術 協 會 雜 誌		
臺 北 商 工 會 議 所 欄		
高 雄 商 工 時 報		

14. 雑誌はどれ程読まれたか

(大人部) 自昭和十三年一月
至昭和十三年十一月

雑誌名	閲覧回数	雑誌名	閲覧回数
富士	1,170	改造	499
キング	1,120	野球界	477
少年倶楽部	1,043	受験と學生	456
講談倶楽部	984	主婦之友	433
少女倶楽部	900	婦人公論	381
日の出	860	新女苑	336
日本少年	778	科學畫報	331
現代	650	受験界	297
婦人倶楽部	629	科學知識	271
雄辯	527	商店界	193
子供之部			
子供朝日	1,948	幼年倶楽部	1,288
子供の國	1,808	潭海	1,016
小學三年	1,791	子供の科學	405
小學二年	1,409	科學と模型	185
小學一年	1,359		

15. どんな本がよく読まれたか

書名	著者名	分類	號番
大地 第一部	パアルバック著 新居格譯	355	141
代數學初歩	岩切晴二	615	54
少年航空兵	北村小松	771	29
最新研究英文の解釋	小野圭次郎	3935	146
化學の基礎	永海佐一郎	623	59
最新幾何學精義	岩切晴二	616	52
山岳征服冒險記	久野豊彦	469	5
登龍代數學	松室隆光	615	58

風速五十米	武田麟太郎	3532	515
理解し易く 記憶し易く 學生の公民科	大森松次郎	261	40
支那事變實記	讀賣新聞社 編輯局編	4173	13
航空隨想	飯沼正明	760	47
物理學の第一歩	藤村興市	621	55
現代支那の政治と人物	波多野乾一	5264	107
貞操問答	菊池寛	3532	423
帝國教育 中學講座 國語國文法講座	龍澤良芳 外二名	261	37
生活の深求	島木健作	3532	512
臺灣見聞記	中西伊之助	0742	112
大地 第二部	パアルバック著 新居格譯	355	141
臺灣年鑑 昭和十三年度	田中一二	0752	41
最も要領 を得たる 日本歴史	諏訪徳太郎	412	60
帝國教育 中學講座 立體幾何三角法講座	木村勉二 外二名	261	37
英文解釋のあたま	村上功	3935	161
一日 一課 獨習者の英語	松岡省平	393	23
新作探偵 小説全集 第八卷白骨の處女	森下雨村	3533	22
甲乙準 表表據 化學粹	高田徳佐	623	53
化學の眞髓	永海佐一郎	623	58
歐洲紀行	横光利一	464	86
帝國教育 中學講座 算術代數學講座	田邊晋八	261	37
平面三角法講義	高村勘	617	12
評判 講談 第十二卷 一心太助	野間清治	3531	22
スタンド英和辭典	竹原常大	375	40
英雄行進曲	佐藤紅綠	3532	466
實用高等數學初歩	北村友圭	610	9
若い人	石坂洋次郎	3532	498
帝國教育 中學講座 物理學化學講座	高田徳佐 外一名	261	37

支那語獨習	打田重次郎	391	6
人を動かす	ロカーネギー著 加藤直士譯	174	265
支那語叢話	渡會貞輔	391	10
詳解中等學英和辭典	學生英語研究會	375	5
化學の第一歩	藤村與市	623	47
學生と先生	河合榮治郎編	174	267
嵐に立つ支那	尾崎秀實	5264	106
水戸黃門	碧琉璃園	3532	415
最も要領 を得たる西洋歴史	諏訪徳太郎	405	20
母	深澤正策譯	355	153
飛行機工作法	駒林榮太郎	760	44
評判 講談第十一卷 大岡政談	野間清治	3531	22
少年讃歌	佐藤紅緑	3532	403
探偵 小説 黒蜥蜴、妖蟲	江戸川亂歩	3533	34
薬用植物圖鑑	青木信一	698	33
支那語辭典	宮島吉敏 共著 矢野藤助	374	24
英語の文法	小野圭次郎	3934	13
代數の權威	柴田信太郎	615	59
吉田絃二郎撰集	吉田絃二郎	310	53
英語の第一歩	米本新次	393	19
日本人オイン	大佛次郎	3532	347
わかる三角法	秋山武太郎	617	5
實驗 推理 化學の講義と着眼點	渡邊金次郎	623	49
悲しき青春	藤田草之助	3532	365
情炎の都市	北村小松	3532	368
愛の非常線	淺原六明	3532	400
蝕める春	菊池寛	3532	332
凡人非凡人	澤田謙	040	147

珊瑚の鞭	加藤武雄	3532	492
センチユリー英和辭典	三省堂編輯所	375	36
最新洋裁大講座	日本女性文化協會	983	52
アルス大衆 寫眞講座第十卷 私の寫眞術	鈴木八郎	851	17
萬國の玉城	山中条太郎	3532	346
未來花良人ある人々	菊池寛	3532	338
考へ方 解き方 詳解算術	山内太一	614	21
更訂 國文解釋法	塚本哲三	320	2
評判 講談第六卷怪傑兒雷也	野間清治	3531	22
秀才の幾何	林茂増	616	49
物理學の要點	中等理學會	621	22
美術の秋 昭和十二年	大道弘雄	811	16
秋窓記	阿部次郎	040	145
グライダ競技	菊池和夫	760	45
聖なる乳房	山中条太郎	3532	323
紅顔美談	佐藤紅緑	3532	350
現代文解釋法	塚本哲三	326	4
外交餘録	石井菊次郎	5262	20
實驗 推理 化學の講義と着眼點	渡邊金次郎	623	49
空軍	大場彌平	760	31
日本文學案内	菊池寛	300	30
大地 第三部	パアルバック著 新居格譯	355	141
中庸	宇野哲人	182	2
初歩英語學び方極意	坂井新五郎	3934	18
歐米大人物立志傳	北島利男	454	1
封神傳	三浦義臣	3532	460
甲表 乙表 物理學粹	高田徳佐	621	51
化學の要點	中等理學會	623	18

戦時概言	徳富猪一郎	040	146
評判講談 第三卷 寛永御前試合	野間清治	3531	22
評判講談 第十三卷 黒田騒動	野間清治	3531	22
登龍幾何學	松室隆光	616	51
幸福	阿部知二	3532	513
新作探偵小説全集 第一卷 蝨く觸手	江戸川亂歩	3533	22
大陸非常線	山中条太郎	3532	353
黄昏の薔薇	徳田秋聲	3532	369
一直線	佐藤紅緑	3532	301
讀書の眼	帝國大學新聞社編	040	148
哲學と科學との間	田邊元	100	105
これからの事業これからの經營	中野有禮	983	91
日本精神の闡明	池岡直孝	172	58
近代思想十六講	生田長江 中澤臨川 共著	104	2
男女東京遊學指針 苦學と就職の秘訣	箕輪香村	205	69
北京俗語集解	鈴江萬太郎 下永憲次 共編	391	7
歐米スバイ物語	鈴木六平	040	109
滿洲語五十講	宮越健太郎 武田博 共著	391	9
フアツシズムと其國理論	五來欣造	510	82
女の一生	山本有三	3532	352
續若い人	石坂洋次郎	3532	498
世界の教育の動きを見て	赤井來吉	200	165
維新夜話	田中光顯	4173	49
桃の雫	鳥崎藤村	313	13
雪國	川端康成	3532	514
空中襲撃に對する國民の準備	宇山熊太郎	760	41
大日本商工錄	高瀬末吉	901	5

16. 子供はどんな本を多く讀んだか

書名	著者名	分類	番號
童話の山もり	童話研究会	083	425
ワン助のお話	久米元一	083	470
少年講談 水戸黄門	野間清治	083	337
たから島	工藤淳	083	358
ガリバー物語	信田秀一	083	378
童話讀本 三年生	沖野岩三郎	083	513
偉人のお話	野瀬寛顯	084	198
童話の満員	童話研究会	083	426
少年講談 里見八犬傳	野間清治	083	337
少年講談 荒木又右衛門	同上	083	337
少年講談 孫悟空	同上	083	337
少年講談 彌次喜多滿洲見物	同上	083	337
カタカナひらがなイソップ	童話研究会	083	440
少年講談 塙圓右衛門	野間清治	083	337
少年講談 山中鹿之助	同上	083	337
うさぎのゆうびん	濱田廣介	083	398
新童話	コドモオトギ會	083	338
兒童圖解百科辭典	兒童教育編輯所	080	8
新らしい童話	澁澤青花	083	424
愛國童話讀本	濱田廣介	083	359
彌次喜多道中記	野間清治	083	337
偉い人の話	三井信衛	084	150
かぜのいたづら	濱田廣介	083	398
小學生家庭讀本	菊池寛 田中豊太郎	081	102
面白い少年少女の話	日野巖村	083	463
面白いお話	金星社編輯部	083	495

小學生の寶典	東京教育會	083	14
兄さん	本地正輝	083	449
お兄さん	童話研究會	083	455
二年生の新童話	模範兒童文庫刊行會	083	473
お母さんのお話	徳永壽美子	083	466
三年生の修身	模範兒童文庫刊行會	081	59
お月さまの國	工藤淳	083	354
少年航空讀本	山田新吾	087	19
太陽征伐	澁澤青花	083	435
スタコラ熊さん	久米元一	083	469
肉爆血戦記	菊池寛	084	224
どらねこと烏	小川未明	083	519
二年生の修身	模範兒童文庫刊行會	081	58
童話の先生	同上	083	428
物語 二宮金次郎	奥平洋一	083	525
海から来た使ひ	工藤淳	083	193
夢の梯子	村岡花子	083	516
五年生の新童話	千葉省三	083	473
ほまれの日章旗	中山清佐	084	225
世界五色の鹿 童話	小林五郎	084	225
大東の鐵人	入波則吉	083	113
小さな親指姫	山中峯太郎	083	411
陸奥の嵐	武田櫻桃	083	356
狼歌 吼える密林 征服	千葉省三	083	396
青空に微笑む	南洋一郎	083	405
荒野の秘密	久米正夫	083	459
曾我兄弟	中山常夫	083	457
あゝ無情	三島霜川	083	191
	久米元一	083	381

トム君サム君	佐々木邦	083	462
少年八幡太郎義家	大久保龍	084	108
空は青いぞ	佐藤八郎	083	476
家なき娘	三井信衛	083	441
トンチ智慧袋	中島徳行	080	9
父の夢母の夢	安倍季雄	083	508
少年講談 柳生十兵衛	野間清治	083	337
軍國少年讀本	蘆谷重常	083	21
少年日本笑話集	三浦藤作	083	485
少年偉人讀本	金星堂編輯部	084	118
昆虫の生活	前田晃	086	136
少年潜航艇隊	村田義光	083	439
少年日本昔噺讀本	三浦藤作	083	430
藤村少年讀本	島崎藤村	081	103
二年生家庭讀本	菊池寛	081	102
小學童話讀本	田中豊太郎	081	106
ひろすけ童話集	上澤兼二	081	106
かぜのいたづら	横田廣介	083	286
小鳥の家	同上	083	398
五年生の修身	吉田絃二郎	083	518
四年生の家庭讀本	模範兒童文庫刊行會	081	61
笛の名人	菊池寛	081	102
日本童話名作集	田中豊太郎	081	102
紙芝居	中山清佐	083	423
桃太郎遠征記	童話作家協會	083	520
面白い童話讀本	大木雄二	083	474
明治天皇御傳	佐藤紅綠	083	499
兒童年鑑	葛原しげる	083	418
	松平浩記	084	109
	志村文藏	080	7

かゞやく小川	吉田 絃二郎	083	506
君よ知るや南の國	加藤 武雄	083	447
四年生の新童話	模範兒童文庫刊行會	083	473
少年豊臣太閤	木下 滋雄	084	124
徳川家康	岡本 瓊二	084	210
ナポレオン戦争物語	菊池 寛	084	222
少年國史物語	前田 晃	084	178
豊臣太閤	松平 浩記	084	107
麗はしき母	佐藤 紅綠	083	397
鳩のお家	大井 冷光	083	293
魔法の鏡	圓屋 五十二	083	495
少年膝栗毛	甲田 正夫	083	301
六年生の新童話	模範兒童文庫刊行會	083	473
若草物語	水谷 まさる	083	452
あすさく花	小野 政方	083	482
小雷勇士	久留島 武彦	084	176
日本の海軍	大戸 喜一郎	087	9
青空學校	佐藤 八郎	083	493

17. 優良圖書

○ 總 類

書 名	著 者 名	分類	番 號
臺灣見聞記	中西伊之助	0742	112
涯しなき道程	田部 重治	040	129
學窓隨筆	金田一京助	040	130
戦争隨筆	守田 有秋	040	143
道理の感覺	天野 貞祐	040	144
秋窓記	阿部 次郎	040	145

戦時概言	徳富猪一郎	040	146
凡人非凡人	澤田 謙	040	147
讀書の眼	帝國大學新聞社編	040	148

○ 哲 學 宗 教

哲學と科學との間	田 邊 元	100	105
新しき生の形式	パウエルガスト著 陶山 務 譯	100	106
支那人の見た日本人	信濃 愛人	161	15
日本國民性	伊藤千 眞三編	161	16
倫理學概説	池田 直孝	170	39
人間の學としての倫理學	和辻 哲郎	170	40
東洋倫理概論	安岡 正篤	170	41
祭政一致と区民道	大倉精神文化研究所	170	42
教育勅語講話	川村 理助	171	29
國民精神總動員原義	三浦 藤作	172	139
日本精神讀本	佐藤 義亮	172	140
君が代と萬歳	和田 信二郎	172	141
小學校國民精神總動員の實際 青年學校	野瀬 寛顯	172	142
國民精神總動員教程	景山 鹿造	172	143
我が國體より見たる赤化思想の迷謬	小倉 鏗爾	172	144
日本道德要論	伊藤千 眞三	172	145
日本國體論	同	172	146
武士道精神	同	172	147
同じ方向へ	高島 米峰	172	148
孝道序論	佐藤 通次	172	149
國民道德本義	河野 省三	172	150
報徳讀本	宮西 一積	173	2
今日に處するの道	深作 安文	174	258
人生讀本(春夏秋冬)	井上 哲次郎	174	264

人を動かす	{D.カーネギー著 加藤直士譯	174	265
誠	一瀬衆吉	174	266
學生と先哲	河合榮治郎編	174	267
新しい心の垢を 修養	{前田慧雲堂 加藤唱堂	174	268
	○ 教 育		
教育讀本	澤柳政太郎	200	160
教育改革論	阿部重孝	200	164
世界の教育の動きをみて	赤井米吉	200	165
兒童の精神構造と指導	久保良英	211	40
子供の宗教教育講話 道徳教育	上村哲彌編	211	41
若き友への手紙	野上彌生子	231	58
兩親教育	兒玉九十	231	59
母の書	市川源三	231	61
我が子の教育	淺野秀一	231	62
父母の態度	松本亦太郎	231	63
子を喪へる親の心	{村田勤司 鈴末龍司	231	64
私の遺言	嘉悦孝	231	65
社會教育概論	小尾範治	260	15
	○ 文 學 語 學		
日本文學案内	菊池 實	300	30
文學の周圍	谷川 徹之	300	31
日本文學の精神	久松 潜一	310	54
生活の窓ひらく	新居 格	312	9
田舎がへり	林 芙美子	312	10
自選晩來抄 歌文	川田 順	312	12
桃の雫(感想集)	島崎 藤村	312	13
短歌入門	土屋 文明	313	130
芭蕉	齋藤 清衛	314	58

女性の文章の作り方	吉屋 信子	327	39
若い人	石坂洋次郎	3532	498
續若い人	同	3532	498
雪崩	大佛次郎	3532	504
生活の探求	島木健作	3532	512
幸福	阿部知二	3532	513
雪國	川端康成	3532	514
風速五十米	武田麟太郎	3532	515
大地 第一部	{パアル、バック著 新居格譯	355	141
大地 第二部	同	355	141
大地 第三部	同	355	141
あゝ無情	池田宣政	355	149
孤兒マリイ	{マルグリット、オオドウウ著 堀口大學譯	355	151
母	深澤正策譯	355	153
童話の創作と賞演	沖野岩三郎	356	67
言語と文體	小林 英夫	380	12
支那語叢話	渡會貞輔	391	10
黎氏支那語文法 上卷	{大阪外國語學校 支那研究會譯	391	11
	○ 歴 史 地 誌		
維新夜話	岡中光顯	4171	49
支那事變實記 第五輯	{讀賣新聞社 編輯局編	4173	13
支那事變 北支之卷	山本實彦	4173	14
悲風千里	尾崎士郎	4173	15
上海北支戦線美談	大道弘雄	4173	16
戦禍の北支上海を行く	吉屋信子	4173	17
北支戦線陣中記	武藤當次郎	4173	19
支那事變、戦線より歸りて	星野辰男編	4173	20
軍國此の精神 美談	池澤由藏編纂	4173	24

新日本の建設と人物	小島徳彌	452	132
伊能忠敬	伊達牛助	458	182
回想の寺田寅彦	小林勇編	458	183
歐洲紀行	横光利一	464	88
渡佛日記	高濱虚子	464	89
山岳征服冒険記	久野豊彦	469	5
支那人、文化、風景	小田嶽夫	480	33
○ 法 制 經 済			
國民政法讀本	馬場恒吾	510	79
昭和維新	松岡洋右	510	80
近代政治思想と皇道	藤澤親雄	510	81
フアツシズムと其國家理論	五來欣造	510	82
嵐に立つ支那	尾崎秀實	5264	106
現代支那の政治と人物	波多野乾一	5264	107
新興ナチス經濟通信	黒岩貞雄	543	16
躍進ソヴェト經濟讀本	直井武夫	543	17
財政讀本	下村宏	550	6
銃後の財政經濟	賀屋興宣述	552	19
戦時體制讀本	{大阪毎日新聞社エコノミスト部 朝日毎日	552	20
時局と自由主義	河合榮治郎	561	73
職業指導講話	小山文太郎	567	75
女性讚美と母性崇拜	賀川豊彦	568	53
新選日本年中行事講話	高橋梵仙	572	15
○ 理 學 醫 學			
學習物理學の第一歩 受験	藤村興市	621	55
中等教育 化學の眞髓	永海佐一郎	623	58
化學の基礎	同	623	59
高等無機化學 教科	橋本吉郎 他五名	624	5

理論應用有機化學提要	{末植 次田 又高 二二	625	6
優生と結婚	大島正滿	645	11
傳染病の知識	内田次郎	693	32
長生きの科學	井上兼雄	697	74
衛生讀本	高野六郎	697	75
○ 工 學 兵 事			
ソグイェトの重工業	小島精一	700	8
砂防工學	蒲 孚	710	24
家庭電氣讀本	{大阪市電氣局 電氣普及會編	730	69
空中戦	大場彌平	760	42
敵機來らば	高橋常吉	760	43
最新圖解 飛行機工作法	駒林榮太郎	760	44
グライダー競技	菊池和夫	760	45
航空隨想	飯沼正明	760	47
防空讀本	大場彌平	770	8
われらの空軍	同	771	28
少年航空兵	北村小松	771	29
兵器讀本	青木保	776	11
海軍讀本	阿部信夫	790	15
○ 美 術			
音樂家列傳	眞篠俊雄	861	10
茶道讀本	高橋義雄	874	18
少年オリンピック讀本	鈴木良徳	880	6
○ 産 業			
新農村の基調	那須皓	912	34
農産食品加工法	島田保男	914	2
商品仕入の理論と實際	西下貞次	961	113

自分で出来る商標の出願手続と誰にも判例 わかる	内藤 隆	981	42
人造液體燃料工業	伊木 貞雄	983	90
これからの事業これからの経営	中野 有禮	983	91
買物讀本	村上 正雄	991	21
漬物の加工法	{ 加藤 謙一 小 熊 彦三郎	994	42
○ 兒童圖書			
少年世界文庫		083	13
8. 鹽原多助	富澤 有爲男		
9. 源九郎義經	佐藤 一英		
10. 街の少年	豊島 與志雄		
11. 國姓爺合戦物語	平井 程一		
12. なつかしの故郷	宇野 浩二		
13. 數學物語	矢野 健太郎		
夕燒の町	平澤 克己	083	527
子供の時間放送童話 一年生	兒童文化協會	083	528
同 二年生	同	083	528
同 三年生	同	083	528
同 四年生	同	083	528
同 五年生	同	083	528
同 六年生	同	083	528
級長の探偵	川端 康成	083	529

18. 時局關係圖書

(一) 一般圖書

○ 國民精神

書名	著者名	分類	番號
國民精神作興詔書衍義	加藤 謙一郎	171	19
建國の精神に還れ	永田 秀次郎	172	29

皇國精神	寛 克彦	172	69
皇國日本	亙理 章三郎	172	98
日本精神と教化運動	紀 平正美	172	107
日本の過去現在及び將來	穂積 重遠	172	115
日本精神史研究	和辻 哲郎	172	123
國體の本義	文 部 省	172	135
國民精神總動員原義	三浦 藤作	172	139
日本の使命と國民の自覺	清原 貞雄	172	138
日本精神讀本	佐藤 義亮	172	140
君が代と萬歳	和田 信二郎	172	141
小學校國民精神總動員の實際 青年學校	野瀬 寛顯	172	142
國民精神總動員教程	景山 鹿造	172	143
武士道精神	伊藤 千眞三	172	147
皇道日本の世界化	徳富 猪一郎	172	151
我等の大日本帝國	植松 泰安	172	152

○ 政治、經濟、軍事

● 政 治

時局政治學	関口 泰	510	73
昭和維新一道義日本確立の急務一	松岡 洋右	510	80
近代政治思想と皇道	藤澤 親雄	510	81
大陸經綸の曙光	小室 敬二郎	5263	36
明日の日本	鶴見 三三	5263	133
南洋は日本を如何に觀る	竹井 十郎	5263	136
昭和の青年と世界展望	下位 春吉	5263	139
戦争と青年	室伏 高信	5264	98
支那の將來と帝國の使命	太谷 光瑞	5264	101
南進經綸	立野 斗南	542	130
日本南進策を世界は斯く見る	國際情勢研究會	5944	12

● 経 済

日滿經濟五箇年計畫	小島精一	542	136
戦後の經濟に備へよ	勝田貞次	542	137
戦時經濟の基礎知識	岩井良太郎	542	138
物の經濟	太田正孝	545	63
物價變動要覽	伊藤武	545	64
赤字財政と其將來	日本財政批判會	552	15
戦時體制讀本	東京日日 大阪毎日 エコノミスト部	552	20
戦争と戦費	齋藤直幹	552	18
銃後の財政經濟	賀屋與宜述	552	19
長期戦下の財政經濟	高橋龜吉	552	21

● 軍 事

戦争圖筆	守田有秋	040	143
戦時概言	徳富猪一郎	040	146
空中攻撃に対する國民の準備	宇山熊太郎	760	41
空中戦	大場彌平	760	42
敵機來らば	高橋常吉	760	43
防空讀本	大場彌平	770	8
スパイ戦の秘密	山本みのる譯	771	21
少女間諜の手記	谷名輝哉譯	771	22
列強兵隊氣質	大内俊	771	27
われ等の空軍	大場彌平	771	28
少年航空兵	北村小松	771	29
近代戦と國防	原嘉章	773	9
海陸軍大空爆戦記	鎌川與五郎	773	10
空襲	片岡稔	776	10
兵器讀本	青木保	776	11
海軍讀本	阿部信夫	790	15

○ 支 那 研 究

北支案内記	布利秋	464	90
支那人、文化、風景	小田獄夫	480	33
冀東綜覽	東洋事情研究會	482	1
北支通覽	神田隆介	482	2
南支那讀本	宮川次郎編	484	15
支那の全貌	竹内夏積外三名	5264	86
解説危局支那讀本	雨宮庸蔵編	5264	88
嵐に立つ支那	尾崎秀實	5264	106
現代支那の政治と人物	波多野乾一	5264	107
支那經濟事情講話	東京商工會議所	543	14
支那今日の社會相と文化	後藤朝太郎	563	93
支那の男と女 現代支那の生活相	後藤朝太郎	563	97
支那の家族と村落の特質	清水泰次	568	49
隣邦支那	後藤朝太郎	574	5
支那漫談	村松梢風	574	6
趣味の支那叢談	上田恭輔	574	7
北支産業要覽	東亞問題研究會	902	33

○ 支 那 事 變

北支戦線陣中手記	武藤當次郎	4173	19
支那戦線より歸りて	星野辰男編	4173	20
支那忠勇報國美談	木村定次郎	4173	21
支那美談武勇談	淵田忠良編	4173	23
軍國此の精神	池澤由蔵編	4173	24
支那忠報國感激美談	木村定次郎編	4173	25
支那忠勇談、感激談 附支那事變史	淵田忠良編	4173	27
支那特派員支那事變戦史 各社特派員 決死の筆陣	宮居康太郎編	4173	29

婦人従軍記	山岸多嘉子	4173	30
支那事變	山本三生編	5264	89
支那を屈するには	石丸藤太	5264	90
支那事變解決論	肥田琢司	5264	99

○ ロシア研究

ソヴェト紀行修正	堀口大學譯	464	87
ソヴェトロシア讀本	茂森唯士	492	26
露西亞縱横記	昇直隆	492	20
露西亞大觀	浮田和民譯	492	27
東西よりロシアを觀る	近藤義春	5263	48
ソ聯の現状とその批判	清澤冽	5263	142
真相ソ聯	新居格譯	5263	144
躍進ソヴェト經濟讀本	直井武夫	543	17
赤露の戦慄	時事新報社	562	33
裏切られた革命	荒畑寒村譯	562	34
ソヴェイトの重工業	小嶋精一	700	8

○ 國際關係

空襲と國際法	田岡良一	5261	10
日獨防共協定の意義	松岡洋右	5262	19
世界は動く	岡本鶴松	5263	124
太平洋を繞る國々	小野鐵二外一名	5263	125
世界は日本をどう見る	國際情勢研究會	5263	134
包圍された日本	石丸藤太	5263	137
英國敢て挑戦するか	池崎忠孝	5263	140
英國反省せよ	三枝茂智外三名	5263	145
北支に於ける列國の權益	高木陸郎	5264	70
赤化、抗日、防共	長谷川了	5264	80
支那事變と列國の論調	姫野徳一	5264	94

赤色アジアか防共アジアか	中保興作	5264	95
支那は生存し得るか	村田孜郎中村常三共譯	5264	102
新興ナチス經濟通信	黒岩貞雄	543	16
有色民族の復興と其經濟的自決	宮田光雄	563	95

(二) 支那事變關係雜誌記事索引 (本館備附)

○ 事變一般

支那事變一週年	(岩淵辰雄)	婦人公論	8月
支那事變一周年に際して	(東西南北)	日本及日本人	8月

○ 政治論說

亞細亞主義と新支那	(山田武吉)	日本及日本人	8月
海南島を語る	(井上謙吉)	週刊朝日	7月三
憲法十七條における國家と倫理(小野清一郎)		改造	8月
黄河の水をも淨化せよ	(石川三四郎)	改造	8月
支那事變解決の要訣	(主張)	日本及日本人	8月
支那民衆を把握せよ	(在天津、鳴海四郎)	中央公論	8月
蔣介石はどこまで逃げるか	(志岐守治中將)	日の出	8月
戦局と政局	(馬場恒吾)	改造	8月
戦争と法律	(勝本正晃)	中央公論	8月
大陸政策の基本問題	(在北京、梨本祐平)	中央公論	8月
日本主義と世界史の立場	(大熊信行)	中央公論	8月
武漢三鎮防衛と第三期抗戰	(陳紹禹外二氏)	中央公論	8月
平和の戦士宣撫班の活躍	(清水齋)	雄辯	8月
北支建設問題と治安工作	(在大連、土井章)	中央公論	8月
漢口陥ちる日抗日陣線の末路	(井上謙吉)	實業之日本	8下
漢口陥落以後の展開	(藤枝丈夫)	中央公論	9月
支那事變解決の指標	(梨本祐平)	改造	9月
支那戦時態勢の全貌	(太田宇之助)	中央公論	9月
支那の革命と日本の名士達	(本山桂川)	實業之日本	8下

新段階に立つ中國共產黨	(安藤英夫)	改造	9月
政治評論の貧困	(黒田覺)	改造	9月
東亞思想とナショナリズム	(船山信一)	中央公論	9月
日支戦争の將來を推測す	(天嘯生)	改造	9月
日本政治の現段階	(戸澤鐵彦)	改造	9月
一國一黨に近衛乗り出す	(星櫻隱士)	實業之日本	9月
宇垣人事とその背景	(成田章一)	中央公論	10月
官僚と革新	(關口泰)	改造	10月
漢口陥落後蔣介石はどうなるか(武藤貞一)		現代	10月
漢口陥落後はどうなる?	(横田實)	實業之日本	9下
漢口陥落と蔣政權	(村田孜郎)	雄辯	10月
廣東攻略すべし	(宮崎龍介)	中央公論	10月
漢口攻略戦の眞意義	(馬淵逸雄)	改造	10月
廣東攻略の重要性	(吉岡文六)	中央公論	10月
漢口總攻撃と蔣介石の末路	(武藤貞一)	婦人俱樂部	10月
國民黨、中國共產黨の暗躍	(北村文夫)	中央公論	10月
事變終結の鍵は	(武藤貞一)	雄辯	10月
事變處理の重點	(馬場恒吾)	中央公論	10月
持久戦を論ず	(毛澤東)	改造	10月
政黨は何をしてゐるか	(A.B.C生)	週刊朝日	9三
新支那聯邦論	(吉岡文六)	改造	10月
戦争はどうなるか	(津村秀松)	實業之日本	9下
大陸新經營の要諦	(土肥原賢二中將)	雄辯	10月
長期抗戦停止論	(張衡文)	日本及日本人	10月
張鼓峰と漢口	(下村海南)	主婦之友	10月
統制の限界と自由の限界	(阿部賢一)	中央公論	10月
日本軍の武漢進撃を論ず	(葉劍英)	中央公論	10月
日本のピラミッド	(東畑精一)	中央公論	10月

武漢、共產黨、ソ聯	(川添彌樹)	改造	10月
滿人が漢人を統治したる手法	(水野梅堯)	中央公論	10月
歴史は繰返す	(石井菊次郎)	中央公論	10月
亞細亞の理想	(王子惠)	改造	11月
一黨政治と協和會の動向	(藤原龜三郎)	改造	11月
一面滅滅一面建設	(構溝光暉)	改造	11月
宇垣退陣と財界人	(X.Y.Z)	改造	11月
宇垣退場の波紋	(伊藤正徳)	改造	11月
宇垣は何故辞めた?	(酒井千秋)	日本及日本人	11月
陥落前夜の武漢三鎮	(知識眞治)	週刊朝日	10月一
漢口陥落の直前	(小島政二郎)	改造	11月
漢口攻略後事變はどうなる	(構溝光暉)	婦人公論	11月
廣東撃たざる可からず	(木村毅)	新女苑	11月
廣東及廣東人	(米内山庸夫)	改造	11月
廣東攻略の特殊性	(横田實)	改造	11月
廣東と海南島	(田中香苗)	中央公論	11月
現代政治に於ける人間	(五十嵐豊作)	中央公論	11月
抗日新體制と廣東攻略	(吉岡文六)	改造	11月
國共合作の楔、三民主義	(堀江邑一)	中央公論	11月
近衛周圍の變遷	(山浦貫一)	改造	11月
近衛内閣再批判	(丸山幹治)	改造	11月
支那事變と革新	(佐藤賢了中佐)	改造	11月
新支那認識への道	(太田宇之助)	中央公論	11月
聖戦貫徹の據點	(末次信正大將)	日の出	11月
戦時立法を貫く特異性	(末川博)	改造	11月
孫文、三民主義、知識大衆	(河野蜜)	中央公論	11月
對支國民綱領の根幹	(土肥原賢二少將)	中央公論	11月
長期持久戦と政治への希望	(江古尾謙)	中央公論	11月

東亞協同體の理論	(續山政道)	改造	11月
南支攻略につき	(山本實彦)	改造	11月
南支作戦の重大性	(和田齋)	週刊朝日	10五
南支作戦の新展開と國民の覺悟(松島慶三中佐)		改造	11月
反共敗國の統一支那へ	(太田宇之助)	週刊朝日	10二
武漢戦後の抗日政權論	(小澤正元)	改訂	11月
滿洲移民の現在と將來	(和田日出吉)	改造	11月
滿國を如何にすべきや	(東郷貴外九氏)	科學知識	10月
○ 國 際 外 交			
英米は對立する	(木下半治)	中央公論	8月
外國から見た事變と日本の人氣(藤原義江)		實業之日本	7月臨
漢口、動く列國の使臣	(原 勝)	中央公論	8月
ゲ、ベ、ウ脱走者の手記	(延島英一)	中央公論	8月
十ヶ月の世界旅行を終へて	(清澤冽)	中央公論	8月
戦慄のソ聯と極東への魔手	(久野豊彦)	婦人俱樂部	8月
ソ聯のジェスチュア	(馬場秀夫)	日本及日本人	8月
ソ聯リ大將脱出の真相	(馬場秀夫)	現代	8月
大陸國策と國民の覺悟	(北聆吉)	雄辯	8月
東沙島—西澤島	(伊勢勝藏)	中央公論	8月
日支宣傳戦	(伊佐秀雄)	改造	8月
日支放送合戦	(河西三省)	雄辯	8月
日ソ關係の現段階	(秋山憲夫)	中央公論	8月
日ソ關係はどうなるか	(大藏公望)	現代	8月
リュシコフ大將脱出の真相	(丸山政男)	中央公論	8月
リュシコフ脱出を繞りて	(チエンペレン) (村山七郎)	改造	8月
宇垣外交の眞隨	(馬場恒吾)	中央公論	9月
宇垣外交論	(清澤冽)	改造	9月
最近ソ聯邦事情の検討	(ソ聯邦研究会)	中央公論	9月

清掃渦中の赤軍解剖	(能見豊)	中央公論	9月
ソ聯解剖	(稻原勝治外二氏)	實業之日本	8下
ソ聯の審判	(馬場恒吾外五氏)	改造	9月
ソ聯果して戦ふ氣か?	(小室誠)	雄辯	9月
ソ聯は日本と戦ひ得るか (岐路に立つア元帥)			
	(久野豊彦)	現代	9月
日本外交革新論	(古垣誠郎)	中央公論	9月
宇垣外交の座標	(市川文一)	週刊朝日	9四
英國の二重外交を警戒せよ	(大山卯次郎)	日本及日本人	10月
歐洲の政局と我が外交國策	(町田梓樓)	中央公論	10月
空襲の國際法	(田岡良一)	中央公論	10月
國策外交を裏切る言動	(飛載天)	日本及日本人	10月
正勇峰事件と赤軍の敗因	(三島康夫)	日本及日本人	10月
ドイツを視、日本を視る	(本領信治郎)	實業之日本	9下
惱める英國の極東政策	(石丸藤太)	雄辯	10月
ビルマに於ける英獨スパイ軍の鬭争(瀧田棟太郎)		日本及日本人	10月
武漢攻略を繞る英、米、ソの動向(松本慎一)		中央公論	10月
親日英人の大獅子吼	(鶴見三三)	雄辯	10月
イタリーでは日本を斯く觀る (イタリー紙)		改造	11月
宇垣外交を衝く	(中山國雄)	實業之日本	10上
宇垣外相の退陣	(二階堂明)	實業之日本	10下
宇垣の退陣と補充失敗	(山浦貫一)	中央公論	11月
見聞の儘の陰謀の策源地香港	(神田正雄)	實業之日本	10上
孤立に陥つたソ聯	(嘉治隆一)	週刊朝日	10四
新外交陣營展望	(伊達圭介)	改造	11月
戦時外相論	(木原通雄)	中央公論	11月
戦争とラヂオ戦	(矢野亨一)	實業之日本	10下
チエンペレン外交の黒幕	(能見豊)	中央公論	11月

中歐制覇の戦略的意義	(三島庸夫)	改造	11月
東亞に於ける英ソの相剋	(武藤貞一)	改造	11月
巴里講和會議の頃	(馬場恒吾)	改造	11月
ヒットラーのソヴェト觀	(英國、ロンドン) アラー郷	中央公論	11月
ブリュッヘルの失脚と日ソ關係	(吉村柳里)	日本及日本人	11月
武装平和の歐洲	(信夫清三郎外二氏)	改造	11月
四巨頭會議の經濟的背景	(松本眞一)	中央公論	11月
○ 軍 事 國 防			
赤軍の極東作戦	(松本忠雄)	科學知識	8月
戦争と食物	(川島四郎中佐)	教育研究	7臨
米國の大平洋作戦	(アンリ・アウシエ)	科學畫報	8月
海の荒鷲と生活する記	(吉屋信子)	主婦之友	9月
恐るべき國際スパイ戦	(諏訪興平小佐)	キング	9月
關東軍、朝鮮軍	(菅原節雄)	改造	9月
空襲された經驗者と防空權威者が語る家庭防空の方法發表會	(千田大佐外五氏)	主婦之友	9月
前支那駐屯軍司令官香月中將征戦縦横記	(記者)	現代	9月
ソ聯空軍の實情	(齋藤寅郎)	週刊朝日	8四
長江作戦の進展	(阿部信夫中佐)	科學畫報	9月
長江掃海の歴史的偉業機械水雷とその排除作業	(廣瀬彦太大佐)	科學知識	9月
葛進する溯江部隊	(福永恭助小佐)	日の出	9月
横須賀海軍病院慰問記	(轟夕起子)	主婦之友	9月
漢口攻略の軍事的意義	(井上謙吉)	中央公論	10月
近代戦に於ける砲彈の威力	(池上克巳大尉)	科學畫報	10月
空襲下の支那とわが國の防空	(小山武夫大佐)	雄辯	10月
防空常識講座	(山田勇少佐)	週刊朝日	9二

防空常識講座	(山田完勇少佐)	週刊朝日	9四
北滿の各國スパイ陣	(額賀余志美)	雄辯	10月
守るにかたい武漢三鎮	(竹内夏積)	實業之日本	9下
見えざる敵と闘ふ衛生隊の辛苦	(大島、福島、) 土橋特派員)	週刊朝日	9二
列國の防毒演習	(今村慎一)	子供の科學	10月
漢口大決戦	(大場彌平少將)	實業之日本	10下
空中戦と特殊飛行	(近藤政市)	科學畫報	11月
抗日游撃戦論	(毛澤東)	改造	11月
彈丸に撃たれる話	(櫻井忠温少將)	日の出	11月
南支作戦の急展開	(濱田尙友)	中央公論	11月
ブリュッヘル元帥は「内敵か」	(角谷健次)	改造	11月
防空常識講座	(山田勇少尉)	週刊朝日	10一
防空發明種々想	(鈴木徳二)	科學知識	10月
○ 財政、經濟、産業			
一志二片論	(金原賢之助)	中央公論	8日
ゲリラ戦の展開と北支農村對策(在北京奥村榮)		中央公論	8月
經濟機構改編は刻下の急務	(小林勇堂)	日本及日本人	8月
國民貯蓄は戦時經濟の根本義	(賀屋興宣)	日本及日本人	8月
國民の經濟生活は何うなるか	(内海丁三)	中央公論	8月
事變で飛び出した黒字の高賣 赤字の高賣	(編輯局調査)	實業之日本	7下
時局經濟雜誌	(波多野鼎)	改造	8月
節約の誤信	(高木弘三)	改造	8月
戦時經濟と民衆の生活	(杉山平助)	雄辯	8月
戦時經濟道徳の提唱	(賀屋興宣)	實業之日本	7下
戦時經濟の特質と高物價問題	(内山徳治)	中央公論	8月
戦時體制強化と今後の投資林	(西村正己)	實業之日本	7下
戦時農村對策の新段階	(東浦庄治)	中央公論	8月
鮮滿支の經濟觀	(太田正孝)	實業之日本	7上

全國民が國策に乗る捷徑	(増田義一)	實業之日本	7下
貯蓄八十億の社會的意義	(永田清)	改造	8月
長期戦と日本經濟の見透し	(牧野輝智)	實業之日本	7上
日米貿易の過去及び現在	(川島信太郎)	中央公論	8月
日本産業構成の變質過程	(木村禧八郎)	中央公論	8月
物價動員と百貨店對策	(稻田隆雄)	商店界	8月
平和産業を襲ふ池田旋風	(財界聽書)	改造	8月
持てる者の作戦、持たざる者の作戦	(高垣五一外五氏)	實業之日本	7上
木綿、皮革非常管理	(綿貫肇)	週間朝日	7三
池田財政經濟政策に示される日本戦時經濟の進路	(高木壽一)	實業之日本	8下
現送三億の意味	(笠信太郎)	週刊朝日	8一
支那事變と米國對日貿易	(千葉霞)	科學書報	9月
支那商工不文律	(米田祐太郎)	商店界	9月
支那民情と農業を語る	(助川啓四郎)	雄辯	9月
自油、統制、計畫、道德經濟	(養道處士)	日本及日本人	9月
事變に躍る南洋華僑	(澤田謙)	雄辯	9月
時局と國民貯蓄の緊要	(眞木傳五郎)	日本及日本人	9月
時局不景氣論の吟味	(津村秀松)	實業之日本	8下
社會政策と統制經濟	(大河内一男)	改造	9月
需要統制と當業者の對策	(關口新治外三氏)	實業之日本	8上
戦時經濟と國民生活	(三土忠造)	現代	9月
大陸産金地理學	(佐藤弘)	改造	9月
デパートから見た代用品	(梅原靜雄)	科學知識	9月
敗戦支那の通貨抗戦	(藤岡啓)	中央公論	9月
販賣價格取締の品とは何か	(江見富士也)	科學書報	9月
物價の前途はどうなるか	(周東保造)	商店界	9月

物資動員下の新しい算盤の立て方(杉山省三他三氏)	實業之日本	8上	
北支進出赤信號	(山田正治)	商店界	8月
余の統制經濟觀	(鮎川義介)	實業之日本	8上
大妻先生に廢物利用の話を訊く	(サトウハチロー)	雄辯	10月
價格表示の實際問題	(倉本長治)	商店界	10月
漢口戦後の經濟はどうなるか	(草田時雄)	中央公論	10月
強力統制下の労働問題	(風早八十二)	中央公論	10月
屑物の行く方(屑から何が出来るか)	(尾崎武人)	實業之日本	9月
經濟學の日本の地盤	(加田哲二)	改造	10月
國策の一線	(馬場恒吾)	改造	10月
財經政策の轉換で景氣はどうなる(金原賢之助)	實業之日本	9上	
支那事變に關聯する商店關係法規集	(別冊附録)	商店界	9臨
事變下各種組合の悩み	(松浦誠之)	商店界	9臨
事變後新設された對支事業會社とその中心人物	(内海育夫)	實業之日本	9下
時局に處する商店のゆき方	(伊藤重治郎)	商店界	9臨
時局の波に乗る古物商賣繁昌記	(上原純)	實業之日本	9上
商店經營家に期待す	(太田正孝)	商店界	9臨
商店法の實施とこれからの商店經營法	(相馬愛藏、關田理一)	實業之日本	9下
消費節約が徹底した場合どんな對策を講ずべきか	(清水正己)	商店界	10月
世界の油井の現状	(寮佐吉)	週刊朝日	9三
戦時金融會社の行方(財界聽書)	(X.Y.Z)	改造	10月
戦時商略はこの要領で行け	(永田利夫)	商店界	9臨
戦時經濟の強化と國民の覺悟	(池田成彬)	實業之日本	9上

戦時統制経済について	(木暮武太夫)	商店界	9臨
戦争に勝つ爲には	(賀屋興宣)	現代	10月
代用品中心に今後の發明を語る會(鈴木寛外八氏)		科學叢報	10月
統制はドコ(イツ)までノビル(ツヅク)か			
	(上野陽一)	商店界	10月
統制物資ものがたり	(記者)	商店界	9臨
難局に立つ中小商工業	(周東保三)	商店界	10月
日本の統制経済はどういふ方向をとるか			
	(小島精一)	實業之日本	9上
廢品の活用法	(關根康善)	商店界	9臨
武漢淪陷直前の支那經濟	(石濱知行)	改造	10月
物價委員に任命されて	(北田内藏司)	商店界	9臨
物資需給調整について	(入江弘)	商店界	9臨
物資統制下の轉業、失業對策、何はどこで相談すべきか			
	(一記者)	實業之日本	9上
北支政權下にはどれだけの資源と財産があるか			
	(大口喜六)	現代	10月
これからの商店經營はどう變るか?			
	(上野陽一)	商店界	11月
支那新幣の制定問題	(根岸信)	中央公論	11月
消費節約運動と賣上維持策の妙案(園田理一)		商店界	11月
節約の論理	(中山伊知郎)	中央公論	11月
戦後建設と軍需工業	(諸井貫一、小島精一)	實業之日本	10上
戦後建設と景氣	(飯田清三、高木友三郎)	實業之日本	10上
戦後建設と財産	(小山強次、野田豊)	實業之日本	10上
戦後建設と商店經營	(井上貞藏、依田信太郎)	實業之日本	10上
戦後建設と投資	(勝田貞次、高垣五一)	實業之日本	10上
前進する爲替統制	(村上要助)	實業之日本	10上

綜合リンク制と貿易の振興	(草田時雄)	中央公論	11月
代用資源界、現状と將來	(中井一鶴)	科學知識	10月
統制經濟と租稅政策	(河上丈太郎)	中央公論	11月
非常時の蓄産對策	(加茂儀一)	改造	11月
北支開發副總裁が決定する迄	(北川一夫)	實業之日本	10下
	社會、文化、科學		
江南風物記	(水島爾保布)	週間朝日	7五
支那で働ける體質、働けぬ體質(本村儀作)		實業之日本	7下
事變の裏に跳るもの	(堤千鳥)	日本及日本人	8月
銃後から見た國民保健	(安田徳太郎)	改造	8月
大黄河の治水(私の夢)	(宮本武之輔)	科學知識	8月
大黄河物語	(中野江漢)	雄辯	8月
大陸へ渡る文化人	(高松棟一郎)	改造	8月
戦ふ國の一年	(吉屋信子)	新女苑	8月
中支の風物談義	(水木雨水)	新女苑	8月
長期戦下のオール對策	(前田一外十氏)	實業之日本	7上
轉失業者の諸對策	(黒澤俊雄)	改造	8月
東京大會延期	(中村正吾安達太郎)	週間朝日	7五
敗戦支那の銃後	(野中徳)	實業之日本	7臨
氾濫する大黄河	(田中香苗)	實業之日本	7上
蒙疆拜見	(松島秀磨特派員)	中央公論	8月
問題の海南島	(石丸藤太)	改造	8月
命み國に捧げて(應召日記)	(佐野周二)	婦人公論	9月
オリンピックを乗り越えて	(下村海南)	中央公論	9月
國難と日本人	(矢吹慶輝)	雄辯	9月
支那動物大鑑	(森爲三)	科學知識	9月
帝國大學改革問題	(今井登志喜外三氏)	改造	9月
統制と社會倫理	(杉村廣藏)	改造	9月

取越苦勞を矯正せよ	(増田義一)	實業之日本	8下
戦はざるものに勝利なし	(永井柳太郎)	雄辯	9月
事變下の青年に望む	(荒木貞夫大將)	雄辯	9月
時局と學生野球の問題	(球界散人)	野球界	8月
出征兵士へ送る手紙	(名家作四編)	雄辯	9月
世相に対する感想	(井上哲次郎)	現代	9月
戦時下美術統制と文展	(柳亮)	改造	9月
戦争とカメラ	(松尾樹明)	科學畫報	9月
戦争と歡樂境	(井上吉次郎)	實業之日本	8上
戦争と娛樂	(權田保之助)	中央公論	9月
全體主義と階級運動	(赤松克麿)	中央公論	9月
注目の的海南島	(西郷胤次少將)	實業之日本	8上
偉大なる沈勇	(増田義一)	實業之日本	9上
家郷より出征軍人に送る手紙	(三文藝家)	キング	10月
極東ソ聯の國境都市を語る	(島田滋)	中央公論	10月
原始種族を想ふ	(小泉丹)	改造	10月
抗日支那の學生層と知識階級	(田中香苗)	雄辯	10月
支那思想對策論	(杉山平助)	改造	10月
支那大陸に發展を志す人々へ	(米内山庸夫)	雄辯	10月
戦時下の美術	(荒城季夫)	改造	10月
戦場の父よりの質問に答ふ	(兒玉九十)	主婦之友	10月
戦線の兵士を思へ	(巻頭言)	中央公論	10月
大學自治の合法性と合理性	(我妻榮)	中央公論	9月
大學問題と人物貧困	(松原寛)	雄辯	10月
大陸に進出する女	(大宅壯一)	改造	10月
大陸の洪水	(多賀善彦)	改造	10月
日支文化の相違を論ず	(獨逸、クルト、ジンゲル)	改造	10月
日支的進歩主義と保守主義	(長谷川如是閑)	改造	10月

蒙古高原風物誌	(在北京、伊藤和夫)	現代	10月
應召兵を送りて	(木崎龍尾)	日本及日本人	11月
危機に立つ日本の野球	(三宅大輔)	改造	11月
戦争と古樂器と	(兼常清佐)	科學知識	10月
戦争と食物	(佐伯矩)	科學知識	10月
知的動員と知識階級	(森戸辰男)	中央公論	11月
東洋と西洋	(谷川徹三)	中央公論	11月
蒙古斷想	(常安弘通)	週刊朝日	10二

○ 人物 評 論

板垣陸軍大臣物語	(秋山憲作)	日の出	7月
宇垣と板垣	(山浦貫一)	實業之日本	7下
快傑秋山定輔	(村松梢風)	雄 辯	8月
五相會議論	(馬場恒吾)	中央公論	8月
郷誠之助と大谷尊由	(岩井良太郎)	改 造	8月
策謀の士王克敏を語る	(岡野増次郎)	日本及日本人	8月
蔣介石と語る	(米・ジョン・ガンサー)	雄 辯	8月
スターリン獨裁の犠牲者全貌	(吉村抑里)	日本及日本人	8月
戦争成金豪遊コンクール	(隅田連男)	實業之日本	7臨
戦ふ蔣介石	(A.スノー)	改 造	8月
南總督會見記	(山本實彦)	改 造	8月
嗚乎！南郷少佐	(松島慶三中佐)	現 代	9月
板垣中將出世物語	(楠藤太郎)	キング	9月
噂の人五分間評論	(片岡貢)	雄 辯	9月
快傑秋山定輔	(村松梢風)	雄 辯	9月
軍人「わしが國さ」	(伊藤金次郎)	中央公論	9月
大陸經營の第一線人	(竹内夏積)	現 代	9月
大陸移民の父滿蒙發展の人柱東宮大佐と加藤完治氏	(篠原龜三郎)	現 代	9月

犬南郷少佐を憶ふ	(千田貞敏大佐)	日の出	9月
南郷大尉追憶記	(齋藤寅郎)	週刊朝日	8-
人間荒木の横顔	(貴志達郎)	雄辯	9月
非常時陸軍の推進力陸相板垣を繞る人々	(濱田尙友)	現代	9月
字垣と板垣の協力	(阿子島俊治)	現代	10月
弟征四郎を語る	(板垣賛造)	雄辯	10月
軍人「わしが國さ」	(伊藤金次郎)	中央公論	10月
重光葵大使物語	(木村毅)	日の出	10月
戦線に行つた人氣物	(山内光三)	實業之日本	9上
アリユツヘル元帥は何を考へてゐるか	(久野豊彦)	實業之日本	9上
陸士第十六期の俊雄な語る	(浦澄江中將)	現代	10月
軍人「わしが國さ」	(伊藤金次郎)	中央公論	11月
商工省の機構と中心人物	(吉葉常三)	實業之日本	10上
徳王と成吉思汗	(小林知治)	中央公論	11月
○ 從軍記、現地報告			
一兵卒從軍記(五)	(老計手)	日本及日本人	8月
現地戦況放送感激話	(河西三省)	現代	7月
現地通信	(田中支朗、小林知治)	實業之日本	7上
櫻井中佐に事變發端當時を訊く	(林彦太郎)	雄辯	8月
徐州會戰参加日記	(上田良作大尉)	實業之日本	7上
徐州戦線放送の感激	(河西三省)	日の出	8月
壯絶南昌の空中戦	(遠藤中尉手記)	週刊朝日	7五
南京寸描	(西島五一)	日本及日本人	8月
北支戦線より歸りて	(香月清司中將)	雄辯	8月
一兵卒從軍記(六)	(老計手)	日本及日本人	9月
漢口攻略戦の諸情勢	(山本實彦)	改造	9月

上海漫語	(内山完造)	改造	9月
蘇州瞥見記	(田波啓)	日本及日本人	9月
頼まれざる從軍記者	(宮地嘉六)	中央公論	9月
北京の感情	(淺原六朗)	中央公論	9月
北支管見	(川島理一郎) (淺原六朗)	實業之日本	8上
揚子江上を征く	(前田特派員)	週刊朝日	8二
安慶攻略戦に從軍して	(岡重夫)	雄辯	10月
一兵卒從軍記(七)	(老計手)	日本及日本人	10月
陥落前夜に於ける狂亂の漢口を覗人	(米國、ボブ、ハンター)	現代	10月
傷つけどなほ	(齋藤正男)	キング	10月
塹壕日誌	(野島勳)	改造	10月
傷病兵の手帖	(永井伍長外二氏)	新女苑	9月
戦線に拾ふ	(田中特派員)	週刊朝日	9四
大陸見聞録	(山本實彦)	改造	10月
竹箆部隊行動記	(永澤竹夫)	改造	10月
南京一描	(西島五一)	日本及日本人	10月
武漢の上下流を旅して	(竹内夏積)	改造	10月
北支蒙古演劇紀行	(小寺融吉外二氏)	改造	10月
滿ソ國境激戦記	(前田實)	日の出	10月
滿ソ國境戦火の張鼓峰一番乗り	(吉屋信子)	主婦之友	10月
一兵卒從軍記(八)	(老計手)	日本及日本人	11月
粵漢線十日記	(花甲)	改造	11月
漢口攻略從軍記	(吉屋信子、小島政二郎、菊池寛)	主婦之友	11月
漢口攻略從軍記	(杉山平助、丹羽文雄)	婦人公論	11月
漢口戦線特別通信	(菊池寛、吉川英治)	主婦之友	11月
後方戦線異状なし	(池尾太一特務兵)	新女苑	11月
從軍より歸りて	(北村小松)	週刊朝日	10五

中國となつて匪賊宣撫の第一線に立つまで(中島成子)婦人公論	11月
敵機撃墜十三機 (古賀清登特務少尉) 實業之日本	10下
南京寸描 (西島五一) 日本及日本人	11月
北支蒙疆訪記 (杉森孝次郎) 改造	11月
南大別山を征く (渡邊正男) 週刊朝日	10四
揚子江手記 (杉山平助) 改造	11月
陸の荒鷲漢口大空中戦記 (有馬廣士少佐) 日の出	11月
盧山血戦 (立野信之特派員) 改造	11月

○ 座 談 會

金山事業家ばかりの「金鑽を探す」匿名座談會 (五氏) 實業之日本	7臨
この際に於ける生活一新座談會(本郷壽次外五氏) 雄辯	9月
上海海軍陸戦隊將士座談會(佐藤勝也中佐外八氏) 週刊朝日	8四
戦時下の家庭生活の建て直し座談會(太田正孝外三女史) 婦人公論	9月
ソ聯怖るべきか(座談會) (志岐守治中將外五氏) 日の出	9月
對ソ座談會 (志岐守治外六氏) 日本及日本人	9月
中小商工業者の失職と轉業問題座談會 (東榮二外十四氏) 中央公論	9月
事變下の風紀問題を語る座談會(野村儀平外七氏) 現代	10月
赤十字戦線座談會 (村尾從軍看護婦外五氏) 新女苑	10月
戦時下の結婚座談會 (小林一三外五氏) 婦人公論	10月
戦時に躍るスパイを語る國防座談會 (小川喜一外四氏) 主婦之友	10月
戦車隊、殊勲部隊長座談會 (村井俊雄少將外五將校) 日の出	10月
忠勇壯烈鬼神哭く最近歸還の部隊長座談會 (上月良夫少將外六將校) 現代	10月
南郷少佐の母堂を圍んで殉國荒鷲の妻と母の會 (得猪つる子未亡人外四氏) 主婦之友	10月

日ソ相剋の將來を語る座談會 (富士辰馬外五氏) 雄辯	10月
武勳に輝く歸還兵士の座談會 (小倉仙太郎外六氏) 婦人俱樂部	10月
工兵部隊長實戦座談會 (早瀬秀夫中佐外五氏) 日の出	10月
時局に處する大阪若手商人の心構を聴く座談會 (阿部商店主外十五氏) 商店界	10月
香港と廣東を語る座談會 (藤田榮介外五氏) 實業之日本	10下
滿ソ國境はどうなつてゐるか(座談會) (羽田武嗣郎外五氏) 實業之日本	10上

○ 宗 教

回教の若き英雄兒、島仲英 (澤田謙) 雄辯	8月
回教及び回教徒 (松室孝良) 日本及日本人	11月
回教問題の重要性 (林銑十郎大將) 日本及日本人	11月
戦争と宗教と科學 (大宅壯一) 科學知識	10月

○ 教 育

時局と算術教育の實踐(承前) (山本松七) 教育研究	7月
東亞の新情勢と我が國民教育 (小澤恒一) 教育研究	8月
時局と教育 (四) (佐々木秀一) 教育研究	10月
時局と算術教育の實踐 (山本松七) 教育研究	10月
非常時教材としての鐵に就いて(橋本爲次) 教育研究	10臨

○ 文 學

北京文學地圖の一隅 (奥野信太郎) 改造	8月
「麥と兵隊」と「黄塵」 (廣津和郎) 改造	11月

○ 歴 史、地 理

自然地理より見たる大黄河の氾濫 (多田文男) 科學知識	8月
密水橋小戦記 (皓野生) 日本及日本人	9月
支那風土記 (守安新二郎) 日本及日本人	10月
新戦場の古き思ひ出 (岡野増次郎) 日本及日本人	10月

○ 婦人、家庭

女の一年	(岡田禎子)	改造	8月
事變下に於ける女性の資務	(賀屋興宣)	新女苑	8月
戦争は婦人をどう變へる	(山川菊榮)	婦人公論	8月
婦人の力で銃後は固し	(池田成彬)	主婦之友	8月
漢口攻略戦の華飯塚部隊長夫人の手記		婦人俱樂部	10月
傷兵の妻に送る	(櫻井忠温少將)	主婦之友	10月
時局下の若き女性に	(室伏高信)	新女苑	11月

19. 中等参考書 (最近)

(一) 國語漢文作文

○ 國語

書名	著者名	分類	番號
國語講座 (帝國教育中學講座の内)	龍澤良芳外二名	261	37
國文法講座 (帝國教育中學講座の内)	龍澤良芳外二名	261	37
新訂國文解釋法	塚本哲三	320	2
國文の解釋	佐藤正範	320	5
新訂國文學び方考へ方解き方	塚本哲三	320	7
受験の秘訣三回以上出た國文問題	森清晋	320	26
徒然草 (中等國文解釋叢書の内)	松井博信	320	30
新訂現代文解釋法	塚本哲三	326	4
現代文の解釋と書取の練習	有精堂編輯所	326	6
入試問題を國語書取の徹底的中心とせる新研究	松岡終行	380	11
受験本位の國文法	三省堂編輯部	382	21
精説國文法	塚本哲三	382	25
○ 漢文			
漢文講座 (帝國教育中學講座の内)	岩垂憲徳外二名	261	37
唐宋八大家文上、中、下 (漢文叢書)	塚本哲三	333	2

文章軌範詳説	細田謙蔵	333	3
新訂漢文解釋法	塚本哲三	333	15
改訂漢文學び方考へ方と解き方	塚本哲三	333	18
漢文初步學び方考へ方と解き方講義	塚本哲三	333	32
既知より未知を征服する漢文問題	寺尾正一	333	44
受験の秘訣三回以上出た漢文問題	森清晋	333	45
一二年生の急所を掴む漢文入門	新日本學術協會	333	46

○ 作文

作文講座 (帝國教育中學講座の内)	深田忠山	261	37
作文學び方考へ方作り方	塚本哲三	321	6
受験女子新作文	山内素行	321	16
受験本位作文の要點	谷岡義賢	321	18
最新中學作文の要領と文例	大槻古壽	321	19
作文精講	竹野長次	321	27
一二年生の急所を掴む新作文	新日本學術協會	321	28
受験作文合格答案集	服部嘉秀	321	26
最新作文範例粹	澤田清總	321	39

○ 外國語

新コンサイス英和辭典	三省堂	375	24
初級英語辭典 (一二三年生)	岡倉由三郎	375	35
學生英和辭典	三省堂	375	38
新選英語辭典	増田藤之助	375	39
スタンダード英和辭典	竹原常太	375	40
最新研究の英語の文法	小野圭次郎	3934	13
受験本位の英文解釋	龜井寅雄	3934	45
新々和文英釋研究	山崎貞	3935	83
新々英文解釋研究	山崎貞	3935	84
中級生の英文解釋の研究とその公式	高橋盛雄	3935	160

受驗英文解釋のあたま	村上 功	3935	161
學生受驗力の英語	佐野 一郎	3935	166
聽講自修佐川の英文解釋	佐川 春水	3935	167
受驗必携單語の類型的研究	川村 泉	3935	168
誤用添削新英文作文着眼點	岡田 實磨	3935	169
受驗と英文和釋法	加賀谷 林之助	3935	170
新和文英釋法	内山 源一	3935	171

(二) 歴史地理

○ 歴史

學習東洋史	寶文館編輯部	404	13
受驗最も要領を得たる東洋歴史	諏訪 徳太郎	404	14
受驗本位の東洋歴史	三省堂編輯部	404	16
最新西洋歴史受驗の研究	朝日 融溪	405	14
最も要領を得たる西洋歴史	諏訪 徳太郎	405	20
受驗學習西洋史	寶文館編輯部	405	24
最も徹底せる解答式西洋歴史	蘆田 逸次	405	30
受驗本位の西洋歴史	三省堂編輯部	405	32
學習最新方眼式國史年代表	先進 堂	411	42
受驗參考答案式日本歴史	中等教育會	412	47
最も要領を得たる日本歴史	諏訪 徳太郎	412	60
國史學び方考へ方と解き方	{ 今井 登志喜 今井 克積	412	69
受驗補習歴史の問題と解答(國史篇)	今村 文英	412	73
受驗參考十八史略詳解	磯野 貞二郎	420	17

○ 地理

受驗準備最も要領を得たる地理通論	諏訪 徳太郎	460	11
高等學校選抜試験外國地理精解	地理歴史研究會	461	8
最も要領を得たる外國地理	諏訪 徳太郎	461	11

最新外國地理の要點	工藤 暢須	461	12
學習外國地理	寶文館編輯部	461	24
受驗本位の世界地理	三省堂	461	37
受驗外國地理問題の解釋	塚田 忠泰	461	42
新制最近世界地圖	三省堂編輯部	463	13
最も要領を得たる日本地理	諏訪 徳太郎	470	34
受驗本位の日本地理	三省堂編輯部	470	92
甲表乙表標準日本地理粹	河田 四郎	470	100
圖說日本地理 上中下	佐々木 清治	470	105
學習受驗の粹標準日本地理精義	三矢 暉吉	470	107
新制最近日本地圖	三省堂編輯部	470	116

(三) 理學醫學

○ 算術

算術問題解き方と其着眼點	武田 建清	614	19
改訂算術圖式解法	千葉 茂	614	22
算術重要問題受驗問題の解法の眞體	吉田 金造	614	23
もつとも算術	更谷 龜太郎	614	24

○ 代數

三版改訂代數學學び方考へ方と解き方 上下	藤 森 良藏	615	17
自學自習受驗參考代數重要問題の解き方	本 多 吉雄	615	37
最新代數學精義 上下	岩 切 晴二	615	40
受驗講坐明解代數學	小 倉 隆	615	43
チャード式代數學	星 野 華水	615	55
徹底受驗代數學新研究	紫 村 次雄	615	56
新制數學初級の代數學講義	岩 間 綠 郎	615	57
登龍代數學 上下	松 室 隆 光	615	58
三段式代數の權威 上下	紫 田 信 太郎	615	59
實力本位			
上級の代數問題の仕譯と解法	奈 良 善 雄	615	60

受験本位代数の權威	紫田信太郎	615	61
學習代數學精解	富山國之助	615	63
受驗			
○ 幾 何			
改訂幾何學學び方考へ方と解き方	藤森良藏	616	9
新版幾何學初歩學び方考へ方と解き方	藤森良藏	616	14
精說幾何學問題と解答	小野新太郎	616	33
新版幾何學問題と解答	小野新太郎	616	33
參考試驗に幾何學重要問題の正しき解き方	佐久間謙	616	34
よく出る幾何學難問題	佐久間謙	616	34
受驗幾何	實文館	616	36
學習幾何問題着眼點	武田建清	616	42
幾何解き方と	武田建清	616	42
チャード式幾何學	星野華水	616	47
受驗の幾何學	笹部貞市郎	616	48
秀才の幾何學	林茂增	616	49
すぐわかる平面幾何第一歩	山崎猛一	616	50
登龍幾何學	松室隆光	616	51
學習最新幾何學精義	岩切晴二	616	52
受驗上級の幾何問題の仕譯及解法	奈良善雄	616	53
(三角其他)			
わかる三角法	秋山武太郎	617	5
初めて學ぶ人の三角法	根津千治	617	6
三角問題着眼點	武田建清	617	9
解方と	武田建清	617	9
登龍三角法	松室隆光	617	11
獨學自習ヲ主ト平面三角法講義	高村勘	617	12
シタル解り易イ	高村勘	617	12
最新解折幾何學講義	寺澤寛一	618	4
試験によく出る幾何代數問題の正しき解き方	佐久間謙	618	5
	高見豊	618	5
○ 物 理			
最新物理學精義	森總之助	621	18
受驗本位物理學の要點	中等理學會編	621	22

教科學生の物理學	龜井忠一	621	24
摘要	藤本源吾	621	25
物理學の講義と正しき解き方	藤本源吾	621	25
問題の	藤本源吾	621	25
増補物理學精義	西澤勇志	621	30
改版	多田静夫	621	30
學習改訂物理學自由	内藏卯三郎	621	44
受驗	内藏卯三郎	621	44
中等物理學補習	内藏卯三郎	621	45
	堺俊郎	621	45
受驗本位の物理	三省堂編輯部	621	46
新測準據學生の物理	三省堂編輯部	621	47
簡易物理學の權威	更谷晋策	621	48
要領	更谷晋策	621	48
標準物理學精義	溝口成藏	621	50
甲表準據物理學粹	高田徳佐	621	51
乙表	高田徳佐	621	51
最も正しき物理學問題詳解	浅田忠順	622	9
受驗物理の征服	松野木俊雄	622	15
學習	松野木俊雄	622	15
明說物理學	三浦幸平	622	16
○ 化 學			
化學の講義と正しき解き方	藤本源吾	623	13
問題の	藤本源吾	623	13
受驗本位化學の要點	中等理學會編	623	18
新詞化學講義 上下	中等理學會編	623	26
初めて學ぶ人の化學	山川如英	623	37
化學の第一歩	藤村與市	623	47
受驗本位の化學	三省堂編輯所	623	48
實驗化學の講義と着眼點	渡邊金次郎	623	49
推理	渡邊金次郎	623	49
學習改訂化學自由	岩永源作	623	50
實驗	岩永源作	623	50
總合式補習化學	今泉善夫	623	51
	中嶋直一	623	51
甲表乙表化學粹	高田徳佐	623	53
準據	高田徳佐	623	53
○ 博物、動物、植物、礦物、生理衛生			
教科參考と博物通論の講義	水野彌作	640	2
受驗準備	水野彌作	640	2
近世博物通論	大島正満	640	8
受驗學習動物學	秋山遠三	650	14
參考	秋山遠三	650	14

學習受驗動物	賣文館	650	22
受驗と學習の動物學 要領を掴める	中等教育研究會	650	37
もつとも動物學 分り易き	西山熊夫	650	54
復習用植物學の講義 受驗用	鈴木豊	660	50
もつとも植物學 分り易き	西山熊夫	660	51
植物學の講義	水野彌作	660	53
教科學生の動物界 摘要	龜井忠一	674	3
受驗と學習の動物學 要點を掴める	中等教育研究會	674	9
標準動物學精義	金子勇	674	14
教科學生の生理衛生 摘要	龜井忠一	691	6
受驗と學習の生理衛生學 要點を掴める	中等教育研究會	691	14
生理衛生學の講義	水野彌作	691	20
生理衛生學精義	山家鐵五郎	691	21
(四) 公民科			
新日本建設の基礎公民教育	仙田清吉	261	29
系統的公民科要義 要目準據	大日本學術協會	261	33
公民科講座(帝國教育中學講座の内)	原房孝	261	37
理解し易く學生の公民科(前後) 記憶し易き	大森松次郎	261	40
(五) 雜之部			
最近數學入試問題新研究 傾向	數學研究社	205	7
入學試驗問題解義號	考へ方研究社	205	58
入試問題正解號	研究社	205	59
最近二十三年專檢高檢高資試驗問題集	箕輪香村	205	74
文部省直轄諸學校入學試驗問題並答案講評	文部省	205	86
新撰 用器畫法詳解講義	大村周二	701	9
わかり易くした用器畫法詳解	富田伊三郎	701	12
最新商業簿記	齋藤善三郎	965	18

20. 主なる新着圖書

書名	著者名	分類	番號
書物の歴史	玉城肇 譯	010	69
道理の感覺	天野貞祐	040	144
秋窓記	阿部次郎	040	145
凡人非凡人	澤田謙	040	147
讀書の眼	帝國大學新聞社編	040	148
改訂版高等常識試問	大倉要、小野周次	040	150
時局と學生	本位田祥男	040	154
天然と人間	徳富猪一郎	040	155
新しき生の形式	陶山務 譯	100	106
東洋倫理概論	安岡正篤	170	41
皇道日本の世界化	徳富猪一郎	172	151
我等の大日本帝國	植松泰安	172	152
日本國民への遺言	高橋是清	174	269
一日一調 人生日記	加藤咄堂編	174	270
若き人々におくる	赤尾好夫	174	271
日本の孝道	石井満	174	272
挨拶の言葉遣ひを基本としたる現代式禮儀作法	習文社編輯部編	175	20
朱子の實踐哲學	後藤俊瑞	183	11
問題解義號 昭和十三年	北原秀一編	205	58
入試問題正解號 昭和十三年	小酒井五一郎編	205	59
女子専檢試験問題と解答集	箕輪香村	205	88
教育研究 新教科書の研究號	初等教育研究会	222	318
家族主義の教育	新見吉治	231	66
時局下に於ける農村教育と講話資料	佐藤隆徳	251	21
公民教育の本質	長倉燭介	261	47
改正要目 小學校遊戲、藝技の解説と指導	原田三治郎	272	46

歌の正しい作り方	由利貞三	313	133
時局下の式辭挨拶演説文範	研文學寮編	3263	10
社交式辭祝辭弔祭の仕方 挨拶	江藤眞城	3263	11
半處女	小島政二郎	3532	516
母は護る	廣津和郎	3532	519
督戦隊	別院一郎	3532	522
五分間式辭と卓上演説	金田天枝	362	50
なな日英佛獨會話 つき	浅野研眞	390	1
日滿支會話教本	金島若水	391	12
躍進日本二千六百年	高田功編	411	70
戦役畫帳御國の譽	國史名畫刊行會編	4171	50
滿洲事變繪卷	武藤夜舟	4173	28
ナポレオンの精神分析	延島英一譯	459	73
情熱のクレオパトラ 妖花	新居格	459	74
北支案内記	布利秋	464	90
大日本外地寫眞帳	東海通信社調査部編	470	117
南支那讀本	宮川次郎編	484	15
蒙古風土記	米内山庸夫	485	34
ソウエート聯邦大地圖	日露通信社編纂	492	28
シンガポールを南洋の五十年 中心に同胞活躍	南洋及日本人社	497	43
近代政治思想と皇道	藤澤親雄	510	81
官吏 恩給法の解説 軍人 附恩給金庫法及借入方法 教員 附恩給金庫法及借入方法	永田一生編	514	19
獨逸は起ちあがつた	二荒芳徳	5263	147
インドの叫び	ポース、ラスビハリ	5263	149
現代支那の政治と人物	波多野乾一	5264	107
なぜ極東に干渉するか	三上正毅譯	5264	108
銃後の財政經濟	岡村信吉	552	19
長期戦下の財政經濟	高橋龜吉	552	21

官業勞務規程總覽 昭和十三年版 勞働事情調査所編	567	76
東印度 怪奇と藝術 諸島の	宮武辰夫	575 7
實用高等數學初歩	北村友圭	610 9
高等立體幾何學	高須鶴三郎、加藤平左衛門	616 54
高等座標幾何學 教育	田中保房	616 55
化學之基礎	永壽佐一郎	623 59
衛生讀本	高野六郎	697 75
機械設計學	鈴木徳藏	720 24
家庭電氣讀本	大阪市電氣局、電氣普及會編	730 69
最新圖解飛行機工作法	駒林榮太郎	760 44
グライダー競技	菊池和夫	760 45
少年航空兵	北村小松	771 29
海陸軍大空爆戦記	鎌川與五郎編	773 10
次の軍縮日、英、米の海軍 會議と	益崎綱幸	790 13
秘寶珍奇圖鑑	東洋文化協會編	800 23
寫眞處方大事典	岡田彰編	851 18
運動年鑑 昭和十三年	大道弘雄	870 1
北支産業要覽	東亞問題研究會	902 33
百貨店問題の研究	堀新一	961 115
小賣商の經營改革一移り行く商業社會一	平井泰太郎	961 116
支那事變に關聯する 商店關係法規集	商店界編輯部編	961 117
會計學の常識	吉田良三	965 47
簡易速記法	青木正次	976 6
自分で商標の出願手續と誰にも判例 できる わかる	内藤隆	981 42
新看板圖案工作集	宮山峻編	981 44
最新家事全書	大妻コタカ	990 12
實用團體基本料理法 附簡易病人食 家庭	陸軍糧秣本廠編	994 43

民風作興の具體策附國家總動員法案	永田城大	0715	13
改訂臺灣人士鑑	臺灣新民報社編	0741	108
北白川宮能久親王御事蹟	社団法人臺灣教育會	0741	109
臺灣地名研究	安倍明義編	0742	113
臺灣殖産年鑑 十三年版	島中泰治	079	31
會社銀行商工業者名鑑 昭和十三年版	千草默仙編	0796	14
臺灣の交通を語る	羽生國彦	0796	49

21. 臺南州下圖書館表 (二十四館)

圖書館名	經費	藏書冊數	閱覽人員	閱覽冊數	一日平均 人員
臺南圖書館	8,862	23,337	101,591	195,487	331
嘉義圖書館	4,923	9,815	96,697	118,978	288
歸仁圖書館	210	1,816	8,755	8,605	29
關廟圖書館	180	705	360	2,050	1
新化圖書館	933	1,351	1,821	2,449	5
善化圖書館	627	1,525	14,926	23,842	42
麻豆圖書館	765	2,184	17,137	20,493	53
下營圖書館	130	944	755	2,113	3
六甲圖書館	150	836	3,871	4,538	13
官田圖書館	100	498	3,034	4,525	10
佳里圖書館	482	862	6,410	858	21
新營圖書館	758	464	10,563	14,840	36
鹽水圖書館	960	2,311	12,344	16,791	42
柳營圖書館	340	1,708	851	878	3
新巷圖書館	649	1,311	5,567	5,989	18
斗六圖書館	380	1,523	7,325	6,759	22
虎尾圖書館	915	1,626	5,797	7,181	13
海口圖書館	76	758	149	166	1
土庫圖書館	300	480	596	6,640	19
北港圖書館	365	1,037	7,200	12,240	26
東石圖書館	505	1,838	19,060	23,072	48
六脚圖書館	630	1,387	4,988	1,849	14
布袋圖書館	65	459	605	640	2
太保圖書館	78	510	532	389	2

○經費ハ昭和十三年度豫算其他ハ昭和十二年度統計ニヨル

備考 全島公私立圖書館 86 館

臺北州	17	新竹州	7
臺中州	28	臺南州	24
高雄州	7	臺東廳	1
花蓮港廳	1	澎湖廳	1

22. 圖書館分類表大綱

000	一般圖書	350	小說	680	醫學(其一)
010	書目及書史	360	說、批評	690	醫學(其二)
020	事	370	演說、技	700	工學、兵事
030	叢書	380	語	710	土木工程
040	隨筆、雜書	390	國語、朝鮮語	720	機械工學
050	雜誌	400	琉球語	730	電氣工學
060	新聞	410	外國語	740	建築學、造家學
070	臺灣	420	歷史、地誌	750	鑛山學
080	兒童用圖書	430	日本史	760	海軍、造船、航海
090	希臘書、古書	440	支那史	770	航空及自動車
100	哲學	450	亞細亞諸國史	780	兵事
110	宗教學	460	歐米其他諸國史	790	陸軍
120	神書附和	470	傳記	800	海軍
130	佛	480	地誌紀行	810	藝術
140	基督教	490	日本地誌	820	書畫
150	回教	500	支那地誌	830	彫刻、金刻、鐫物
160	論理學	510	其他外國地誌	840	蒔繪、漆器
170	倫理學	520	法制經濟	850	製版、印刷
180	支那哲學	530	政治	860	寫真
200	附漢學	540	法律	870	音樂
210	教育學	550	古代法制	880	諸藝、遊戲、娛樂(其一)
220	實地教育	560	經濟	880	諸藝、遊戲、娛樂(其二)
230	初等及普通教育	570	財政	900	產業、家政
240	高等教育	580	社會	910	農業及茶業
250	專門及特殊教育	590	風俗	920	園藝
260	社會教育	600	統計	930	園藝、畜牧、養蜂
270	體育、學校衛生	610	植民、移住、新領地、經營附移	940	山林、牧畜、養蜂
280	及遊戲、演劇	620	地、理、學、醫	950	水產、漁業、鹽業
290	學校建築及器具	630	數學	960	養蠶、蠶絲
300	文學、語學	640	物理學、化學	970	商業
310	日本文學	650	星學、地文學	980	交通、通信
320	國文	660	地博、震物	990	工、藝
330	支那文	670	動物學		
340	歐米文		植物學		
			地質學、礦物學		
			古生物學		

特236

315

終